

# 第1章 健康おかざき21計画(第2次)の概要

## 1 計画策定の基本的な考え方

### 1 計画策定の背景と趣旨

わが国では、急速な人口の高齢化や生活習慣の変化により、がん、心臓病、脳血管疾患、糖尿病などの生活習慣病が増加し、深刻な社会問題となっています。このような社会状況の中、市民一人ひとりの健康観を大切にし、健康で不自由なく生活できる期間（健康寿命）の延伸を図っていくために、ヘルスプロモーション<sup>※</sup>の理念に基づいた健康づくりの取組が必要となってきました。

このような背景から、国では平成12年4月から「21世紀における国民の健康づくり運動（健康日本21）」を開始し、愛知県では平成13年3月に「健康日本21 あいち計画」を策定し、一人ひとりの健康づくりの取組を促進してきました。

本市では、「健康日本21」及び「健康日本21 あいち計画」に基づく、岡崎市の健康増進計画として平成16年3月に「健康おかざき21計画」（以下「第1次計画」）を策定し、平成18年度には岡崎市の母子保健計画である「岡崎市健やか親子21」を包含することで、すべてのライフステージに合わせた健康増進計画として平成25年度まで推進してきました。

第1次計画の期間中、「たばこ」分野の「喫煙者の割合」や「身体活動・運動」分野の「運動習慣や意識」、「健やか親子」分野の子育てに関する項目などが改善しましたが、「栄養・食生活」分野の「野菜摂取量」、「健やか親子」分野の「性感染症の正しい知識を知っている高校生の割合」、「アルコール」分野の「適正飲酒量を理解している人の割合」などで健康づくりのための行動が進んでいないとの結果も明らかになりました。

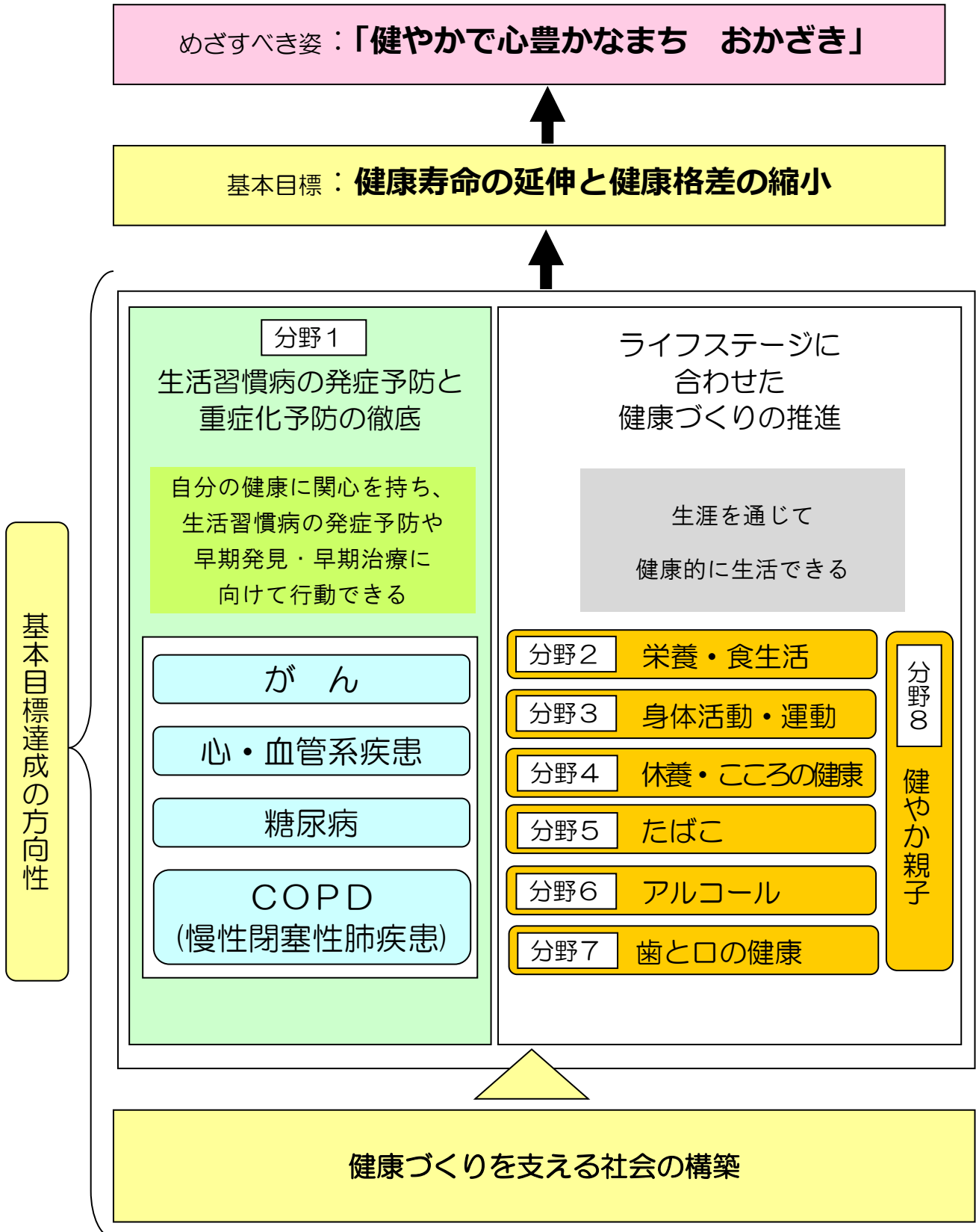
平成24年7月に告示された、国の「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」に基づく「二十一世紀における第二次国民健康づくり運動（健康日本21（第2次）」（平成25年度から平成34年度）、平成25年3月に公表された愛知県の「健康日本21 あいち新計画」（平成25年度から平成34年度）では、新たに健康格差の縮小や生活習慣病等の重症化予防の徹底などが基本方針に加えられ、健康づくりのための社会環境の整備の必要性も示されました。

本市では、国や愛知県の方向性や第1次計画で明らかになった課題に取り組むための岡崎市の健康増進計画として「健康おかざき21計画（第2次）」を策定しています。

※ヘルスプロモーションとは、「住民一人ひとりが自らの決定に基づいて、健康増進や疾病の予防、さらに障がいや慢性疾患をコントロールする力を高めること」「健康づくりを支援する環境づくりを行うこと」を2本の柱として展開する公衆衛生戦略である。

## 2

## 計画の体系



# 3

## 目標と指標

計画では、基本目標である「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」と、基本目標の達成の方向性である「生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底」、「ライフステージに合わせた健康づくりの推進」、「健康づくりを支える社会の構築」のそれぞれに対して、目標・指標を設定しています。基本目標の達成の方向性の指標は、取組を評価する「健康づくりの指標」と取組等を通して市民の健康状態がどう変化したかを評価する「健康水準の指標」に分かれています。「健康づくりの指標」には、取組の方向性を示すための目標を設定しています。

### ●● 健康づくりの指標

「市民」「市や団体」の取組によって、直接、目標値に近づくことができるもの。

### ●● 健康水準の指標

取組などを通して、市民の健康状態がどう変化したかを評価するもの。様々な取組が行われた結果が健康状態の変化をもたらすため、設定のない分野もあります。

### ●● 「★」付きの目標・指標について

重点とする「めざす健康市民の姿」と関連が強いものには「★」印がついています。